

公益社団法人 日本経営工学会  
第 35 期第 4 回理事会議事録

日 時：2020 年 1 月 11 日（土）13:00～17:17

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス 14 号館 10 階 1060 室

出席者：（理事） 松川弘明，中島健一，伊呂原隆，開沼泰隆，葛山康典，辛島光彦，小島貢利，  
志田敬介，西岡久充，皆川健多郎，森川克己，八木英一郎

（監事） 大久保寛基

欠席者：（理事） 藤野直明，葛山康典 （監事） 西口宏美

## 議決事項

### 1. 入会の件

会員担当理事より，資料（YGE20200111-1）に基づき，正会員 5 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。

### 2. 論文誌執筆細則，チェックシート変更の件

論文誌編集担当理事より，資料（KAI20200111-1）に基づき，論文誌執筆細則と論文チェックシートの変更案が提示され，全会一致で承認された。ただし，論文誌執筆細則の 2.1 の文言を「原稿は，Editorial Manager での提出と電子メールでの提出の…」に修正，2.2.1 と 2.2.2 の項目を入れ替え「2.2.1 Editorial Manager による提出」「2.2.2 電子メールによる提出」に変更，改正日の「令和 2 年」を「2020 年」に変更することとした。また，論文誌執筆細則の「2.2.1 Editorial Manager による提出」において，プロパティ等のファイル属性による著者の同定を防ぐ文言が記載されていないとの意見，論文チェックシートにおいて，その必要性についての意見が出され，論文誌編集委員会で引き続き検討することとなった。

### 3. 日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供の件

国際渉外担当理事より，資料（IRT20200111-3）に基づき，日本学術会議会員・連携会員の候補者案が提示された。情報提供する人数や選定基準などに関して種々議論がなされた結果，候補者については松川会長と国際渉外担当理事に一任することが全会一致で承認され，その結果を理事会で報告することとなった。

### 4. その他 なし

## 協議事項

### 1. 70 周年記念事業：日本経営工学会特別功労賞（支部推薦）について

70 周年記念事業担当理事と支部担当理事より，資料（NSK/MKK20200111-1）に基づき，特別功労賞（支部推薦）基準案が提示され，全会一致で承認された。

### 2. 公益事業推進に関わるビジネスモデル構築について

公益事業推進担当理事より，資料（NSK20200111-1）に基づき，公益事業推進に関わるビジネスモデルの構築についての提案がなされた。ビジネスモデルの構築を進めることについては全会一致で承認され，詳細は公益事業推進特別委員会にて継続して検討することとなった。

### 3. 2020年度事業計画案について

庶務担当理事より、資料（NOH20200111-1）に基づき、2020年度事業計画案が提示され、今後微修正する可能性があることを踏まえて全会一致で承認された。また「経営システム」誌の発行部数についての意見が出され、これに関連して松川会長より論文誌編集委員会と「経営システム」誌編集委員会と合同で今後の学会誌のあり方について議論してほしいという要望が出された。

### 4. 今後の理事会日程について

庶務担当理事より、資料（NOH20200111-3）に基づき、今後の理事会日程案が提示され、全会一致で承認された。会場については未定で、決定次第、情報共有することとなった。

### 5. 事業／収支決算報告のみなし決議について

庶務担当理事より、資料（NOH20200111-4）に基づき、2019年度事業報告及び収支決算報告のみなし決議の日程案が提示された。のみなし決議ではなく、理事会の場で議論した方が良いのではとの意見が出され、第5回理事会の議決事項とすることが全会一致で承認された。2019年度事業報告及び収支決算報告については、定時総会資料として印刷する必要があるため、第5回理事会の決議で印刷が間に合うかどうかを庶務担当理事が事務局に確認し、場合によっては、第5回理事会を2020年4月25日（土）13:00～17:00に変更する可能性があることも確認された。

### 6. 春季・秋季大会における論文発表の件

論文誌編集担当理事より、資料（KAI20200111-2）に基づき、春季・秋季大会において博士後期課程学生や若手研究者を対象とした論文発表に関する案が提示された。これについて、査読プロセスや対象者の基準、著者や査読者のメリット等について種々議論がなされた結果、春季・秋季大会での論文発表を進めることが全会一致で承認され、2020年秋季大会に向けて会員に対して告知を行うこととなった。ただし、査読プロセスや対象者の基準、論文発表の仕組みなどの詳細については、引き続き論文誌編集委員会で検討した上で、理事会にて継続して審議することとなった。

### 7. 日本経営工学会論文誌70周年記念特集号の件

論文誌編集担当理事より、資料（KAI20200111-3）に基づき、日本経営工学会論文誌70周年記念特集号の提案がなされ、全会一致で承認された。

### 8. 産学連携研究交流会の覚書について

企画・行事担当理事より、資料（MGK20200111-1）に基づき、産学連携研究交流会の覚書を解消しない旨の報告がなされた。覚書に関して、契約期間が年度をまたいでいることやJIMAの担当業務の範囲等、覚書の見直しについての意見が出された。また実施者に対するインセンティブの仕組みやマーケティング（集客）をどこが担うのか等についても議論すべきでないかという意見も出された。今後の産学連携研究交流会については一旦休止とすることが全会一致で承認され、日本IE協会での独自の開催についても特に意見はなく全会一致で承認された。

### 9. 産学連携研究交流会第1分科会の青山学院HICへの支払いについて

中島副会長（財務担当理事代理）と企画・行事担当理事より、資料（K&M20200111-1）に基づき、産学連携研究交流会第1分科会の青山学院HICへの支払いについての提案がなされ、依頼状を前提に全額支出することが全会一致で承認された。

## 10. 2020 年度予算について

中島副会長（財務担当理事代理）と庶務担当理事より、資料（KYS20200111-1）に基づき、2020 年度予算案についての説明がなされた。これに関連して、大会の事務委託先の見直しや表彰のあり方、費用と会員獲得効果の観点からの抜本的な検討、支部・研究部門・研究プロジェクトについて予算と学会活性化の費用対効果の観点からの検討を各種委員会等で進めてほしいとの依頼がなされた。庶務業務委託費の削減案や論文誌編集委員会の予算削減案、あるいは大会の2回開催から1回開催への変更等があることから、それらを踏まえた予算案を提示した上で、再度削減すべき項目を挙げてほしいとの意見が出された。また、選挙が隔年で実施されることから2年周期で予算を考えるべきという意見や支出だけでなく、収入（大会参加費や年会費）を増やすことも検討したほうが良いのではとの意見が出され、引き続き検討することとなった。さらに、今後の大会委員会と大会組織委員会のあり方についても提案がなされ、大会委員会で検討することとなった。

## 11. 2020 年春季大会基調講演謝金について

大会担当理事より、資料（KSM20200111-1）に基づき、2020 年春季大会基調講演謝金について提案がなされ、全会一致で承認された。

## 12. 2020 年春季大会東北・北海道支部研究大会 OS の予稿集製本・配布について

大会担当理事より、資料（KSM20200111-2）に基づき、2020 年春季大会東北・北海道支部研究大会 OS の予稿集製本・配布についての提案がなされ、「リプリント」という文言を追加することを条件に、大会の Web 予稿集とは別に支部研究大会予稿集を製本・配布することが全会一致で承認された。

## 13. EAWIE について

国際渉外担当理事より、資料（IRT20200111-2）に基づき、台湾での EAWIE2019 を最後として EAWIE を終了する報告がなされた。これに関連して、EAWIE の背景や役割などについて意見が出され、KIIE と CIIE との今後の連携方針について今後検討することが確認された。

## 14. 「経営システム」誌のオープンアクセス化について

「経営システム」誌編集担当理事より、資料（NOH20200111-2）に基づき、「経営システム」誌の第29巻第2号に関してオープンアクセスとする提案がなされた。これについて、オープンアクセスにしても効果が薄いのではないかという意見が出されたが、まず試験的に第29巻第2号をオープンアクセスとすることが全会一致で承認された。

## 15. その他 なし

### 報告事項

#### 1. 退会について

会員担当理事より、資料（YGE20200111-2）に基づき、退会についての報告がなされた。

#### 2. 70 周年記念講演会について

70 周年記念行事担当理事より、資料（NSK20200111-2）に基づき、70 周年記念講演会の記念講演会のテーマと基調講演者について報告がなされた。

### 3. JIMA が協賛した行事について

国際渉外担当理事より、資料（IRT20200111-1）に基づき、JIMA が協賛した行事についての報告がなされた。

### 4. 業務執行状況報告

松川会長より、国際文献社との委託契約に際して、財務担当理事と庶務担当理事とともにコスト削減を目指した委託費の精査に取り組んでいること、エンジニアリング学会、日本マテリアルフロー研究センター、内閣府、経済産業省、国土交通省の関係者に経営工学の広報活動を行っていること、70周年記念シンポジウムの基調講演予定者を中島副会長とともに訪問し、依頼と承諾を得た旨の報告がなされた。中島副会長より、70周年記念シンポジウムの講演依頼のために松川会長とともに基調講演予定者を訪問したこと、70周年記念事業のJIS改定に関して、日本規格協会と経済産業省のJIS担当者とのヒアリングを行った旨の報告がなされた。

### 5. その他

表彰担当理事より、現在表彰委員会で表彰案についてメール審議を進めており、理事会でも承認依頼がある旨の報告がなされた。

※次回第35期第5回理事会は、2020年5月9日（土）13時より開催する（会場は未定）。日程は2020年4月25日（土）13時に変更の可能性あり。

議 長 松川 弘明 印

議事録署名人 大久保 寛基 印